

製品名: PTPRB ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16669**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	219kDa

抗原情報

遺伝子名	PTPRB PTPB
別名	
遺伝子 ID	5787.0
SwissProt ID	P23467
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 280~360

背景

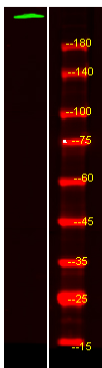
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTPは、細胞の成長、分化、有糸分裂周期、がん化など、様々な細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。この PTP

は、細胞外ドメイン、単一の膜貫通セグメント、および1つの細胞質内触媒ドメインを含み、受容体型 PTP に属します。この PTP の細胞外領域は、複数のフィブロネクチン III 型リピート配列で構成されており、神経受容体やコンタクチン、テネイシン C などの細胞接着分子と相互作用することが示されています。このタンパク質はナトリウムチャンネルとも相互作用することが確認されており、チロシンリン酸化状態を変化させることでナトリウムチャンネルを制御する可能性があります。このタンパク質の相互作用パートナーの機能は、この PTP が細胞接着、神経突起の触媒活性に関与していることを示唆している。タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。受容体クラス 3 サブファミリー。類似性: 1つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含む。類似性: 17個のフィブロネクチン III 型ドメインを含む。サブユニット: MAGI3 と相互作用する。、

研究分野

接着ジャンクション;

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。